

おちばすぎ

学校だより 3月号

京田辺市立普賢寺小学校

令和8年3月2日(月)

3月1日現在 児童数102名



FDGS ~認め合い 進んで学び合う 普賢寺っ子~

響き合う感謝の心 —— 普賢寺の絆を次なる一步へ

校長 佐々木 みゆき

校庭の桜のつぼみが少し丸みを帯び始め、普賢寺の豊かな自然にも春の柔らかな光が差し込む季節となりました。今年度も残すところあと一か月。子どもたちの表情には、一年間をやり遂げた自信と、次なるステージへの期待が入り混じっているように感じられます。

さて、去る二月二十日、本校では「六年生を送る会」が開催されました。この会に向け、下級生たちは「大好きな六年生に感謝を伝えよう」と、一生懸命に準備や練習を重ねてきました。当日の体育館は、温かな拍手と笑顔、そして少しの寂しさが混じり合った、言葉では言い尽くせないほどの感動に包まれました。低学年は愛らしく、中学年は趣向を凝らし、そして高学年はとても心のこもった発表でした。それぞれの学年が、六年生からもらった優しさを自分たちなりの形にして返そうとする姿は、まさに学校目標にもある「認め合う」姿の集大成でした。下級生の真っ直ぐな想いを受け取り、目を細めて見守る六年生の姿に、私は普賢寺小学校が育ててきた絆の深さを改めて実感し、胸が熱くなりました。行事の大成功を自信に変え、子どもたちが一段と成長した姿を見せてくれたことを心から誇りに思います。

本校は今年度も京田辺市で唯一のコミュニティ・スクールとして、地域の皆様や保護者の皆様から多大なるご支援を賜りました。じゃがいもの収穫等の数多くのなのはな委員会主催行事への参加をはじめ、学校・家庭・地域が手を取り合い、子どもたちの学びを支えていただいたことに深く感謝申し上げます。皆様が注いでくださる温かく、肯定的な眼差しがあったからこそ、子どもたちは安心して失敗を恐れずに挑戦し、自分自身の良さを伸ばすことができました。

卒業を目前に控えた六年生の皆さん。皆さんがこの普賢寺小学校で積み上げた努力や、仲間と共に笑い合った日々は、これから歩む道のりを照らす確かな光となります。卒業式へのカウントダウンが進む中、校舎を歩く皆さんの背中を見送る日々は、私たち教職員にとっても名残惜しく、少し寂しい時間でもあります。しかしその寂しさは、皆さんと過ごした時間がそれだけ貴重で、素晴らしいものであったという証でもあります。

末筆ながら、この一年間の本校教育活動へのご理解とご協力に、教職員一同、心より深く感謝申し上げます。春休みまであとわずか、子どもたちが自分自身の歩みをしっかりと振り返り、希望を持って新しい春を迎えられるよう、最後まで一人一人に寄り添い、全力を尽くしてまいります。

3月の主な行事予定

4日(水) 全校朝礼

⑤地域仲良し会

5日(木) ⑥2分の1成人式(4年)

6日(金) じゃがいも植え付け(1, 2年) 予備日

11日(水) 感謝の集い

13日(金) ⑤学級活動(6年)

18日(水) 給食終了 卒業式前日準備

19日(木) 卒業証書授与式 短縮4校時

23日(月) 短縮4校時

24日(火) 修了式 大掃除 短縮4校時

27日(金) 離任式



6年生を送る会

卒業式を目前に控え、校内が少しずつ寂しさと温かさに包まれる季節となりました。先日、本校では「6年生を送る会」を開催いたしました。「6年生を送る会」は、これまで下級生をリードしてくれた6年生へ、感謝の気持ちを伝える大切な行事です。各学年からは、歌や呼びかけなど心のこもった発表がありました。

この日に向けて、各学年で準備を進めてきました。1年生は6年生に送るメダルを作製してくれました。2年生は体育館等の入口を、3年生は体育館の中に思い出深い6年生の集合写真で彩ってくれました。4年生は体育館にプログラムを、5年生は全体進行と共にステージ上の看板やメッセージブックを作ってくれました。

6年生からも、在校生に向けて最高学年らしい力強い歌声等の発表もありました。6年生一人一人の表情からは、この6年間で培った確かな成長の跡が感じられました。6年生の凛とした姿に、次期リーダーとしての自覚を深める5年生の頼もしい眼差しが重なりました。自分たちの手で学校をより良くしようと努めてきた6年生。彼らが築いた「認め合う学校」の文化を、私たちはこれからも大切に守り育てていきたいと思ひます。



その他学校の様子につきましては HP でご紹介させていただいております。

日々更新を続けておりますので是非ご覧ください!!京田辺市立普賢寺小学校で検索をお願いいたします。

ひだまり～学校を支えるチカラ～

日頃から学校を支えてくださっている方々を紹介するコーナーです。
学校だよりで順不同でご紹介させていただきます。



給食調理員の皆様

毎日美味しい給食を作ってくださいありがとうございます。

給食のカレーの人参を星形にくり抜いてくださるなど、いつも愛情がいっぱいつまった給食です。中でもほくほくのじゃがいもを煮たメニューはどこにも負けないおいしさです。食器を返しに来たすべての子どもたちにも温かく、いつもとても優しい笑顔で声をかけ、対応してくださっています。食のチカラで子どもたちの心を満たしてくださっています。間違いなく普賢寺小名物の1つです。

離任式の日程変更について

今年度より、京田辺市内のすべての小中学校の離任式が例年の4月1日から3月27日(金)に変わります。お間違えのないようお願いいたします。詳細な時間等は、後日お知らせします。

今回は栄養教諭です!

ふげんじ日和

いつも子どもたちの健康管理等ご協力いただきありがとうございます。学校には「栄養教諭」という教職員がいるのをご存知でしょうか。主な仕事は、大きく分けて2つあります。

1つ目は、「生きた教材」である給食の管理です。成長期に必要な栄養を計算し、地場産物や旬の食材を取り入れながら、子どもたちが食文化を学び、味覚を育むための献立を日々工夫しています。2つ目は、教室での「食育」です。学級担任と連携し、授業や給食の時間を通じて、栄養の働きや感謝の心、マナーなどを指導します。



給食時間に教室をのぞくと、「給食おいしい!」という喜びの声や、時には「いつもは苦手だけど、今日の給食の野菜は食べられた!」という成長の声を聞くこともあり、とてもやりがいを感じています。こうした「一口の挑戦」や「味覚の広がり」を大切にしながら、自分の体のためには何を食べればよいかを自ら考え、選択できる力を養いたいと考えています。子どもたちに食の大切さを伝えたいという想いが、私の栄養教諭としての原点になっています。食事の量や栄養、アレルギーのことなど、気になることがありましたら、いつでもお気軽に栄養教諭までご相談ください。



食育に関する掲示物